

平成30年度 小谷村教育委員会9月定例会 会議録

○開催日時 平成30年9月27日(木)

開会：午後4時40分 閉会：午後6時00分

○開催場所 小谷村教育委員会 相談・応接室

○出席者 教育長 山田 光美
教育長職務代理人 平林 哲夫
委員 太田 明
委員 村越 くに子
委員 太田 加代

○傍聴者 なし

○職務のため出席した者 教育次長兼総務学校係長 齋藤 かおり

1 開 会

教育長：平成30年度小谷村教育委員会9月定例会の開会を告げる。

2 日程の報告

日程第1 8月定例会会議録の承認

教育長：前回の会議録は事前にお送りしましたが、内容について加筆訂正等ありませんか。

《なしの声あり》

それでは前回の会議録については異議がないということで署名をお願いしたいが、よろしいでしょうか。

全委員：了解する。

日程第2 教育長事務報告

教育長：(資料説明)

8月30日歴代教育委員との懇談会では、色々な話を聞くことができました。今後の参考にしたいと思います。

保育園、小学校の運動会は雨のため、どちらも順延になりましたが、無事終了できました。

また、9月25日にはスポーツ振興表彰審査委員会を開催し、指導者とし

て清水秀雄前体育協会会長、競技の部では全国中学校スキー大会ジャンプ優勝の平田悠理君の2名を表彰することになりました。11月3日開催の小谷村定例表彰及びスポーツ振興表彰式で表彰します。

9月小谷村議会定例会一般質問では、吉澤議員から子育て支援、母子家庭・低所得層家庭への支援について、曾根原議員からは給食費の無償化について、北村議員からは奨学金の運用状況について質問がありました。北村議員からは大学入学金についても奨学金貸与の対象となるよう要望がありました。大学の入学金に対応するとなると、入学前の2～3月に支給するためには事前の審査方法など規則の見直しなどが必要になります。審査が難しくなると感じておりますが、今後の対応について、ご意見がありましたらお願いします。ご意見や質問などありませんか。

全委員：なし。

日程第3 議案上程、説明、質疑、決定

教育長：本日は議案の上程はありません。

日程第4 報告及び協議事項

1 児童生徒の様子について

教育長：小中学校からは特に問題はないと聞いております。（以下、非公開）
（以下、公開）

2 全国学力・学習状況調査結果から

教育長：(資料説明)

算数B(活用)以外は国・県の平均を下回っています。児童数が少ないので1人2人の良し悪しが数値に表れますので、数字だけで一喜一憂はできないと考えています。

家庭学習時間は国・県とほぼ同じになっています。この時間には、がったクラブでの学習時間も含まれているのではないかと思います。また、無回答率の高さが目につき、途中で分からなくなり、回答を諦めてしまったことが考えられます。粘り強く問題に向かう力をつけさせたいと松尾校長から報告がありました。

公営おたり塾の成果として、ネイティブからの発音が耳に入り、聞く力は身につけているようです。保育園から小学校低学年へのつなぎとしてジャン先生、小学校高学年から中学校へのつなぎとして堀内先生に授業に入ってもらっています。テストをする訳でもないのに、数字として表すことは難しいのですが、継続は力なりとして続けていくことが大切だ

と感じています。ここまでで何かご意見などありませんか。

平林委員：全国学力・学習状況調査結果について公表はしないということで、よろしいですね。

教育長：数値の公表はせず、結果の考察を公表します。
他にご意見などございませんか。

全委員：なし。

教育長：次に、中学校の結果についてです。(資料説明)

全体的に国・県の平均より下回っています。家庭学習時間が1時間未満の生徒が全体の1/3という結果が出ています。

公営おたり塾は4年目になりますが、ずっと連続して通っている生徒はいませんでした。2年以上通っていた生徒と通っていない生徒と比較したところ、公営おたり塾に通っている生徒は他教科のテスト結果も総じて良いので、「学習意欲が高い」と言えそうです。

今年度から英検受検料の補助を開始しましたが、現在の資料は6月受検分までです。年3回(6・10・1月)検定があり、受験者数は増えているようです。中学校について何かご意見などありませんか。

平林委員：英検は全校58人中25人が取得。約半数が級を取得していますが補助の効果もあり取得者数が多いと見ていいのでしょうか。

教育長：他校の様子は分かりませんが、今年度1回目までの結果なので今後も取得者数は増えると思います。

平林委員：公営おたり塾は、学校のテスト力向上のものではないので比較は難しいと思います。

教育長：今年度から英会話教室の中学生はレベルに応じたコース設定に変更したので、今後結果に現れるかどうか期待です。

平林委員：話は変わりますが、全国学力・学習状況調査はいつまで続けるのでしょうか。傾向を見るための調査と言われてはいますが…。

教育長：今後、調査の手法を変えるようなことは言っています。

村越委員：毎年、調査結果が良い秋田県では、上級生が下級生に学習を教える学校があるそうで、教える立場はしっかり理解していないと教えられないので、学力が身につけているのではないかと何かに書いてありました。

教育長：他に何がご意見はありますか。

全委員：なし。

4 当面の行事予定について

教育長：(資料説明)

10月14日は小谷小学合唱団が参加するSBC合唱コンクールが開催され

ます。

27～28日は小谷村文化祭、今年度は村合併60周年記念として講演の講師に杉良太郎さんをお呼びします。

11月3日は村定例表彰とスポーツ振興表彰の表彰式、こちらも60周年として被表彰者が例年に比べ多くなっています。教育委員会関係では、ふれあい番所や民謡保存会、小谷吹奏楽クラブなど各種団体が表彰されます。

18日は保小中合同職員研修旅行を計画していますので、委員の皆さんで参加希望があればお知らせください。

何かご質問などありませんか。

全委員：なし。

日程第5 自由討議

教育長：自由討議です。委員の皆さん、何か話題にしたいことはありませんか。

平林委員：総合教育会議で村長から話がありましたが、奨学金の減免額の変更についてはいかがでしょうか。

新たな減免の条件として学力を加えることは判断が難しいと思います。単純に減免額を大きくすると基金が少なくなりますので、借りたい人が借りることができなくなりたいと思います。

太田(加)：私も今のままでいいと思います。

村越委員：学力という難しい判断は避けるべきだと思います。

教育長：現在の条件のまま、減免額の上限を100万円から120万円や150万円に引き上げることは可能だと思います。実際にやってみないと減免対象者が何人増加するか分かりませんし、償還時期も数年先の話になります。万が一、基金の保有額が少なくなり、借りたい生徒に貸せない状況が見込める時には一般会計から補填して原資を増やすという方法もあります。

減免額の上限を変更した場合のシュミレーションをしてみて、今後の検討資料にしたいと思います。もし条例改正が必要な場合には、平成31年4月改正のスケジュールで進めたいと思います。

他に話題にしたいことはありませんか。

平林委員：最近のランドセルは軽量化されていますが、ランドセルが重く姿勢が悪くなるという話を聞きました。

村越委員：教科書を全部入れると5～7kgにもなると言われていますね。

太田(加)委員：最近は全部持ち帰る指導はしていないと思います。全部持ち帰らず明日の時間割を揃えることがないので、児童が1日の予定を把握できなくなっています。翌日の時間割の準備をすることも大切なんですけどね。ただ、1教科で教科書他2冊ほど必要になるので、1日の時間割分の教科

書類をランドセルに入れるとかなりの重さになります。

平林委員：村内の学校は教科書を全部持ち帰る指導をしているのか気になりました。

教 育 長：小中学校の様子を把握していないので確認します。

他に何かありませんか。

全 委 員：なし。

日程第6 次回委員会の開催予定

教 育 長：次回9月定例会は、10月25日(木)16時30分から開催したいが、いかがでしょうか。

全 委 員：了解する。

3 閉 会

教 育 長：以上で本日の会議事項は全て終了しました。これで平成30年度小谷村教育委員会9月定例会を閉会とします。ありがとうございました。